



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2022～2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
RIテーマ イマジン ローター

クラブテーマ「楽しい例会 楽しいロータリー」

会長 小林 勝 幹事 杉山順一

第1530回 例会 2023.5. 19(金)雨

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「日も風も星も」指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 小林 勝君



皆様、4月1日より静岡新聞の夕刊が廃止されたのを知っていますか？これは実質的な値上げですね。

新聞業界はここ数年、購読者数の減少により深刻な不況に陥っています。これは地方紙に限らず、全国紙の読売、毎日、朝日も同じ状況で苦しんでいます。仮にですが、過去5年間の購読者の減少率が続くと、計算上あと15年で新聞購読者数はゼロになってしまうそうです。物価上昇は新聞で使う紙だけでなく、インク、輪転機を回す電気代等、ありとあらゆる物に影響し、ますます追い打ちをかけています。日本の新聞社の苦境とは反対なのが、アメリカのニューヨークタイムズです。ニューヨークタイムズは世界的に有名な新聞ですが、実はニューヨーク限定の規模の大きなローカル紙です。このニューヨークタイムズも十数年前に同じ理由で苦境に陥りました。しかし彼らはいち早く新聞の電子化に成功し、今はめちゃくちゃ儲かっています。なぜなら、紙媒体時の購読者はニューヨーク限定でしたが、電子化されたニューヨークタイムズの購読者は全世界に広がりました。

なぜニューヨークタイムズは新聞の電子化に唯一成功したのでしょうか？



今日の料理

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	20/35	57.14%	27/35	77.10%
今回	31/37	83.80%	会員総数	37名

欠 席 者 あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、中山君、三輪君、山口(雅)君、山田君、吉村君

(*出席免除会員の欠席者 片野君)

おめでとう

会員誕生日 4月28日 遠藤修弘君
入会記念日 4月30日 土屋 巧君



スマイルボックス

野村諒子君：今日は雨の中をご苦労様です。富士山が真白になったと思ったら、真夏日、今日は雨、インフルエンザも流行っているようです。体調管理に気をつけましょう。

原兄多君：5/15ガバナー補佐事務局として初めて会長幹事会に出席しました。少し緊張しました。

「4期目の市議会議員選挙に挑戦して・・・」

1. 選挙を振り返って

皆様のおかげで当選できました。ありがとうございました。

立候補28名（定数 22名）野村りょう子 10位 1,510票 となりました。選挙では、組織票を持つ人の方が有利であることが、結果からも見ることができます。三島市は地元推薦というものは少なく、後援会組織も市議会議員選挙ではしっかりしたものはつくりにくいので、名簿に入っていたいた方を大事にすることが第一だと思い取り組んできました。市長選挙や県議会選挙に出て名前を売り、後援会づくりをしっかりと行うことも次の選挙では有利になることもあると思いますが、好成績で当選した人が議員活動でもしっかりできるかと言えば、そうとばかりは言えません。選挙と議員活動とは必ずしも一致せず、選挙では特別の取組みも必要であると感じています。議員としての役割を果たすためには、市民受けするパフォーマンスではなく、議会の一員として協力を得る努力や、委員会活動の中で専門性を身に付け、しっかりした見地からより良い政策提案ができることが重要と考えます。一議員としてできることは限られますが、三島市議会として一丸となって取り組むことができれば、大きな成果を産む事ができると考えます。4期目は、三島市議会の中でも中心的な役割を果たす立場であると自覚し、取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

2. 三島市の課題

(1) 予想以上の出生数の減少(少子化の加速)

コロナ禍では、2023年4月30日現在の、新生児(0歳児)の人数は減少傾向が更に加速し、1年間で100人以上減少しています。

年齢別の人口数集計 | 2023年4月30日現在

年齢	合計人数	男(人)	女(人)
0歳	527	281	246
1歳	631	313	318
2歳	681	372	309
3歳	716	363	353
4歳	721	364	357
5歳	806	395	411
10歳	928	478	450
20歳	993	524	469
30歳	867	445	422
40歳	1,183	592	591
50歳	1,813	913	900

○少子化が進むことによる課題

将来の就労人口の減少（社会の様々な現場の担い手不足）

今後の親世代の減少により、少子化がさらに加速

○少子化の原因・・・政府の少子化対策的効果を得ているか疑問？

女性の社会進出の増加

未婚率の増加（非正規就労の増加、異性への関心が薄い若者増加）

晩婚化が進んでいる

生殖能力の低下が進んでいるためか、不妊症が増えている。

静岡県の不妊治療に伴う助成金(40歳未満の場合、子ども1人につき6回まで)

1. 採卵を伴う治療(治療区分:A、B、D、E)

⇒1回あたり30万円を上限

2. 採卵を伴わない治療(治療区分:C、F)

⇒1回あたり10万円を上限

3. 精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術(男性不妊治療) ⇒1回あたり30万円を上限

○少子化が進むことにより、取り組むべきこと

小中学校の再編成の必要性

5年後の令和10年には、このままでは三島市内の小中学校は1クラスや複式学級(1年2年で1クラス)が増加すると思われます。そのことが子どもたちの健全な成長に良い影響を与えるとは思えません。

令和5年度 三島市内小学校の実学級数 (単位:学級)

学校名	学級数							計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	
東小	2	2	2	2	2	2	2	14
西小	2	2	2	2	2	2		12
南小	3	3	3	3	3	3	5	23
北小	3	3	3	4	3	4	7	27
錦田小	2	3	3	3	3	3	4	21
徳倉小	2	2	2	2	2	2	0	12
坂小	1	1	1	1	1	1	0	6
佐野小	1	1	1	1	1	2	0	7
中郷小	2	2	2	2	2	3	2	15
沢地小	2	2	2	2	2	2	0	12
向山小	3	3	3	3	3	3	0	18
北上小	2	2	2	2	2	2	3	15
山田小	3	3	2	3	3	2	0	16
長伏小	2	2	2	2	2	3	0	13
合計	30	31	30	32	31	34	23	211

※文科省は学校規模の適正化、適正配置等に関する手引きにおいて、学校の適正なクラス数を12学級以上18クラス以下としている。今後、1クラスが増えていくことは子供の成長にとって適切ではないとしたら、今から学校再編に向けて、検討すべき時期に来ていると思います。

文科省は、適正な規模にすることで児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨することを通じて、一人一人の能力を伸ばしていく・・・と、示しています。

また、学校規模の縮小は、学校の維持管理面で、教員の負担を増やしており、課題となっています。

(現在は、校舎建設当時の半分以下の教員で管理している。建物のメンテナンスについては委託業者がしているが、それでも日常的な管理は教員が関わること多い)

(2) その他の三島市の課題

○地域住民の高齢化 自治会が維持できない 支援を必要とする人の増加

○免許証返納する人の増加 買い物難民の増加 ひとり住まいの家の増加

○路線バスの撤退(通学生徒の減少、就労人口の減少、運転手不足)

○空き家問題 8000軒が更に増える。(地域の治安が悪くなる、管理面での課題が出てくる)

(3) これからの主な取り組み事業

○三島駅南口駅前開発の推進(建築資材の高騰による影響はどうか)

○大場地区の開発 (大場インター近くの東京ドーム2個分の土地の活用)

○新庁舎建設(10年後) ○焼却灰最終処分場の整備(新たに新設) ○新ごみ焼却場建設

○玉沢IC周辺医療・健康関連産業等集積事業(三島総合病院南側の用地の売却と開発) など